

「恒吉小学校のそば切り踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	曾於市立恒吉小学校
2. 学年・人数	1～6年生 10人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年1月16日（木）～1月23日（木） 恒吉小学校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和7年1月24日（金） 11:45～ 恒吉小学校体育館
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名 称 曾於市指定文化財 野町そば切り踊り（のまちそばきりおどり） (2) 由 来 1599（慶長4）年にあった庄内の乱で、恒吉日輪城が落城したとき、敵味方関係なくそばを提供し、喜ばれたことから生まれたと伝えられる。西南戦争のときにも踊られたと言われている。 (3) 構成等 和太鼓のリズムに合わせて、そばのこね方から売り方までを歌い、ユーモラスに踊る。踊りの途中で大げさにそば玉を落としたり、そば玉で顔を白く化粧したりし、笑いを誘う。歌の最後に自分たちが作ったそばを会場の方々に振る舞う。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	そば切り踊り保存会のメンバーが減り、存続が難しい状況になっている。そのため現在は、かつて踊り手であった、児童の祖父に会長代わりをお願いしている。学校でも小道具、踊りや歌の資料、ビデオ等を保管し、子供たちに指導ができる体制を整えている。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	  そば祭りで披露（ユーモラスな踊り） そば祭りで披露（歌と太鼓）
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・1年生のときから、毎年みんなでそば切り踊りをしているので、これからもちょうんと低学年に教えて、伝えていきたい。 ・家族や校区の方々が喜んでくれたので、練習をがんばってよかった。 【保護者・校区の方々】 ・子供たちのそば切り踊りは、何度見てもかわいらしくて、楽しい。子供の数が少なくなっているが、これからもぜひ、続けていってほしい。